



発達をうながす遊び 赤ちゃんとの遊び



お子さんと過ごす時間、どんなふうに遊んだらいいの？と迷う方は多いようです。遊びは日々の活動の中にあるものですが、月齢・年齢によって遊びは変化していきます。時期を見て、上手く新しい遊びを取り入れてみるとよいでしょう。

☆子どもの遊びの発達過程☆

見ている段階⇒援助を受けて遊ぶ⇒一人遊び
並行遊び⇒連合遊び⇒ルールのある遊び

変化はしていきますが、成長しても以前の年齢の遊びは行



☆乳児期の遊び<1>感覚遊び☆



聞いたり・見たり・触ったり・舐めたりしてその感覚を楽しむ

モビールなどが動いているのをじっと眺める・触る
大人とのふれあい遊び（“いっぽんばし”などいろいろあります）



☆乳児期の遊び<2>運動遊び☆



手足を動かして、赤ちゃんが自分の動きと物との関わりを楽しむ

赤ちゃんが手に持って動かすと音がする（ガラガラなど）
触れると揺れて音がするもの・ひもを引くと音がするもの（オルゴール人形など）



☆赤ちゃんとき持ちのやりとりのチャンス☆



乳児期の遊びは、赤ちゃんとき持ちのやりとりができるチャンスです。一人で遊んでいるのを見守ることも必要ですが、リラックスした雰囲気の中で同じものを楽しむ経験は赤ちゃんのこころの成長に大きく影響します。

ご相談のある方はお電話ください。

港北区福祉保健センター こども家庭支援課

子ども家庭支援相談 540-2388



©横浜市港北区ミズ